

Press Release

令和2年春の外国人叙勲

タングシャム・ダバリ・シン氏の旭日双光章受章

2020年4月29日

在インド日本国大使館

2020年4月29日、日本政府は、令和2年春の外国人叙勲受章者を発表し、この中でタングシャム・ダバリ・シン元マニプール観光協会会長が叙勲されることが公表されました。シン氏は、インドにおける対日理解の促進及び日本・インド間の友好親善に寄与した功績が認められ、本年、旭日双光章を受章することとなりました。

- ・賞賜： 旭日双光章
- ・功績概要： インドにおける対日理解の促進及び日本・インド間の友好親善に寄与
- ・主要経歴： 元マニプール観光協会会長（2012年～2017年）

シン氏は、平成24年から平成29年に至るまでマニプール観光協会会長を務めました。マニプール州は、第二次世界大戦のインパール作戦で知られるインパールを首都とする州です。こうした日印共通の歴史を抱え、多くの旧日本兵の英霊が眠るインパールと日本の友好関係強化についてシン氏はかねてより検討し、遺骨収集等を目的として活動している団体への協力を提供してきました。

シン氏は、インパール作戦を後世に語り継ぐ重要性を考え、平成26年に初となるインパール作戦70周年記念式典を開催しました。シン氏が会長を務めていたマニプール観光協会が主催した同式典には、在印日本大使館関係者等含む日本人参加者が多く参加しました。

令和元年6月22日には、笹川平和財団及び日本財団の支援のもと、マニプール観光協会が中心となりインパール平和資料館が開設されました。シン氏は、同資料館設立に初期の頃より携わり、当時のマニプール観光協会会長として資料館建設に多大な貢献をしました。

在インド日本国大使館は、今回の叙勲に際し、シン氏の長年に亘る尽力に対する敬意を表します。